

# 交流ニュース

新島村立  
若郷小学校  
交流だより  
平成18年1月号

あけましておめでとつござい  
ます。今年も、子どもたちの喜びに  
あふれた交流の様子をお伝えて  
まいります。どうぞよろしくお願  
いいたします。

学芸会を終えた二学期の後半、  
若郷小では新島小との交流を活発  
に行いました。学校内はもちろん、  
地域や向山など、学校外にも交流  
学習が広がっています。

## 新島全体が学習の場

**若保の子に教えてあげたよ**  
12月15、16日に、一年生は、  
生活科の学習で若郷保育園生と一  
緒に二日間かけてアシタバクッキ  
ーを作りました。  
一日目は、材料集めです。クツ



キーに入れるアシタバを、若郷の山に採り  
にいきました。一年生は山に登り、「ここに  
アシタバがあるよ!」と若保の子どもたち  
にやさしく教え、力を合わせておいしそ  
うなアシタバを採っていました。  
翌日は、クツキーを焼き上げます。まず、  
粉をこねて細かくしたアシタバと混ぜま  
す。次にみんなで力を合わせ、のばした生

り心臓がドキドキし、手に汗をかいている  
子どももいました。

自分の得意な札を確実にとれるよう、子  
どもたちはわずかな時間も惜しんで歌の暗  
唱や復習に励んでいました。上の句だけで、  
相手方の札をとることができた時の顔は、  
とてもうれしそうでした。当日は、中学生  
と対戦します。若小生の活躍を期待してい  
ます。

### 若郷の達人

新島について学習をしている三年生は、  
新島小の友達に若郷の案内をしました。

案内に向けて、事前に教える場所の下調  
べをします。そして実際にその場所に行き、  
インタビューをしたりメモを取ったりして  
伝えることがらをまとめておきました。

案内当日は、始めは少し緊張してしま  
したが、次第に慣れ、これまでの学習の成果  
を発揮して、身振りを交えて説明をしま  
した。

その後、若郷の地域を実際に案内しま  
した。わかりやすい説明に、新島小の三年生  
はしきりにつなずいていました。



戦争に実際にいった地域のお年寄りから、体験談  
を直接うかがう。



「テレビに映っているところが、地図の印のと  
ころで・・・。」  
堂々と発表できました。

地に型を押しつけてくり抜きます。最後に、  
オーブントースターで焼いてできあがり  
です。

試食を試してみたら、甘みの中にもアシ  
タバの香りがほのかにして、とてもおいしい  
クッキーでした。一年生も保育園生も協力  
し甲斐のあった大満足の活動でした。

### カルタ名人になる!

五・六年生は、1月13日の百人一首大会  
を目指して練習を重ねています。12月に  
は、新島小の五・六年生と予選をしました。  
日頃は校内での対戦のため、相手に限り  
がありますが、新島小では新しい対戦相手  
ばかりで、



「一字きまりは『む・す・め・ふ・さ・ほ・せ』  
だったな・・・。」

### 新島にも戦争があった

歴史で、戦争があった時代を学習した六  
年生は、新島小の六年生といっしょに向山  
に残っている「トーチカ」を見学に行きま  
した。トーチカは、鉄筋コンクリート製の  
簡易陣地で、太平洋戦争末期に新島にもい  
くつも設置されたそうです。

博物館の北村さんからの説明を聞き、現  
物を見た子どもたちは、これまで、本の中  
でしか知らない戦争を、実感をもってとら  
えられたようです。

さらに、実際に戦争に招集された方の話  
を聞く機会もありました。わずか六十五年  
ほど前に起こった戦争が、どれほど悲惨で  
残酷なものだったかを、深く考える学習と  
なりました。

.....

十七年度の交流学習も九ヶ月を終えまし  
た。一学期の頃から比べると、子どもたち  
の取組みの様子が大きく変化しています。  
活動により積極的になり、新島小の子と交  
わす言葉もとても増えました。若郷小の子  
どもたちは、周囲との関わりを上手にとり  
つつ、集団の中で、より自分らしく活動で  
きるようになつてきています。